

---

# 高木ババア

ノン仔&春

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

高木ババア

### 【Nコード】

N6167K

### 【作者名】

ノン仔&amp;春

### 【あらすじ】

高木ババアという七不思議です

## 高木ババア

人気の無い夕暮れの公園に一人でいると、ボロボロの真つ赤なドレスを着たおばあさん（高木という名字らしい）がやってきて、

「私の家族は居眠り運転をしていた大型トラックに轢かれて死にました……」

と話し出します。気味が悪くなつて逃げようとしても、足が動かなくなつてしまい、話を聞くしなくなつてしまいます。

「私の息子はとても良い子でねえ。家族のことをいつも思いやるともやさしい子でした……でもね……神様なんていないんですよ……。あんなに良い子だったのにトラックに轢かれて右腕をもがれて死にました。あなた、かわいそうだと思いますか？」

そう聞かれてかわいそうじゃないなんていう人っていないですよね？ 仮にそう思つてなくてもその老婆の気味悪さと不思議な雰囲気で、

「かわいそうですね」

と言つてしまうそうです。すると

「そうですか……こんなババアの話聞いてくれた上に同情までしてもらつて……ありがたいことです。それではもう少し聞いてください。私の嫁はとても良い人でねえ。よく気がついて、私の世話も喜んでやつてくれるような人だったんですよ……。しかし、トラックに轢かれて両足を失つて死にました。かわいそうだと思いますか？二人いた孫も、1人は頭を、もう一人は内臓をつぶされて死にました。かわいそうだと思いますか？」

といます。こちらは「かわいそうだ」という以外できなくなつてしまいます。

「そうですか・・・こんな小汚いババアに同情してくれてありがとうございます。ありがとうございます。あなた、私の息子や嫁、孫たちがかわいそうだってくれましたね？もし本当にそう思っているのならあなたの腕をくださいな・・・」

そこまで聞くと足が動くようになるので急いで逃げると、すぐに逃げ切れるのですが、いつのまにか背後にいるそうです。そして、

「かわいそうだと思うなら、あなたの両足くださいな・・・あなたの頭をくださいな・・・あなたの内臓をくださいな・・・」  
そういつていつまでも追いかけてくるそうです。

(後書き)

この話を一週間以内に十人以上に話さなければ高木ババアに殺されるそうですww

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6167k/>

---

高木ババア

2010年10月15日22時04分発行